

東日本大震災及び原子力災害以降、本県の子どもたちは様々な機会に福島の今を伝える活動を行うなど、復興に貢献しようという想いを高めています。その想いを具現化できる機会を提供することで新たなステージに進み、子どもたちが主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことを通して、新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成を図る事業です。



事業名：ふるさとの思い出リーフプロジェクト～木彫の温もりとともに～
実施団体名：会津学鳳中学校・高等学校美術部 (事業1)

取組の概要等

被災された方の故郷への思いを、中学・高校の美術部の生徒たちが木彫レリーフとして再現制作し贈呈し、故郷への愛情のこもったインテリアとして愛用していただいた事業である。

取組内容



事業名：花の力で地域を元気にしよう
実施団体名：郡山市立桃見台小学校 (事業1)

取組の概要等

仮設住宅住民へ花苗を届け、一緒に植えるなどの交流活動を行った。また、原発事故以来誰も寄りつかなくなった近くの公園で、地域の住民といっしょに花を植える活動を展開した。



- 【取組①】仮設住宅住民といっしょに花植えをする。
- 【取組②】仮設住宅住民と交流会を開く。
- 【取組③】近くの公園に、町内会の方たちと花植えをする。



事業名：平商フラダンス大使ふくしまの復興を世界へアピールプロジェクト
実施団体名：平商業高等学校 (事業2)

取組の概要等

平商フラダンス愛好会18名が、本場ハワイのフラダンスを学ぶ機会を設けるとともに、これまで研鑽してきた技術と震災からの復興を物語としてフラダンスで表現しステージ発表することで、世界へ向けて福島の復興をアピールする。また、震災で苦しんでいる避難している人々を元気づけるため、また、地域活性化の一助としていわき市制施行50周年記念イベント等で演舞する。

取組内容



事業名：ふるさと創造・映像教育プロジェクト
実施団体名：ひろの映像教育実行委員会 (事業2)

取組の概要等

広野中学校第1学年の生徒を対象にした映像教育の実践で、子どもたちが映像製作を通して、故郷の良さ、伝統、文化、祖父母等の暮らしに目を向け、故郷の誇りを再発見する機会を創出することを目的した事業ある。

取組内容



【短編ドキュメンタリー映画の制作および発信】
テーマ1 「広野町のよさ」
テーマ2 「広野駅のよさ」
テーマ3 「広野町の復興」
テーマ4 「ヒロノリュウ」
テーマ5 「郷土料理」

事業名：きたかた山都 そばの里

「山都蕎麦で絆をつなぐ～高校生による手打ちそば実演・アピール事業」

実施団体名：喜多方市ふるさと振興株式会社

(事業2)

取組の概要等

首都圏在住の人々に、福島県立耶麻農業高等学校の生徒が作付けをして収穫したそば粉を用い、生徒による手打ちそばの実演と販売を行い、生徒の元気度とモチベーションのアップを図り、喜多方山都そばの里の特産品「山都そば」のPRとともに、誘客促進による地域活性化と風評払拭を図りふくしまの復興に寄与することを目的として実施した。

取組内容

【取組1】そばの作付け～収穫・乾燥・製粉～そば打ち講習会

【取組2】高校生による手打ちそば実演・アピール事業



事業名：国見ジュニア応援団事業

実施団体名：国見町 (事業2)

取組の概要等

復興の進む国見町で、地域のよさを再確認し、地域の課題を知り、地域の復興のために、子ども達の視点で自ら取組み、ふるさとに愛着を持つ少年リーダーを養成した。

取組内容

【学習編】国見の産業、歴史・文化、まちづくりを学ぶ。

【学習編】震災復興への取組、風評被害について学ぶ。

【体験活動編】平泉・北海道・岐阜・横浜の各地で復興・ふるさとをPR！



事業名：音楽で結ぶ ふたつの被災地と 世界の絆
実施団体名：MJCアンサンブル (事業2)



取組の概要等

大和市、神戸市、洲本市の合唱団との音楽交流を通し、合唱や音楽に親しみ、震災支援に感謝を伝え、さらに、PRのDVDを上映し、「今の福島」を発信したことにより、福島県の現状を広く他県の方々に伝えると共に、メンバーの郷土を愛する心を一層育む事業である。

取組内容

【交流コンサート】大和市、神戸市
【音楽交流会】洲本市
【阪神淡路大震災体験研修会】洲本市
【福島応援ミニコンサート】日本橋ふくしま館



事業名：フード・アクションこおりやま
実施団体名：郡山商業高等学校 (事業3)

取組の概要等



郡山商業高校生が主体となり、高校で学んだ商業の知識を活かし、柔軟な発想で福島県産の食に関する商品開発から、広告・販売まで行った。福島県産の食材を使った商品を全国へ発信したことで、風評被害の払拭並びに食の安全を全国へPRした。

高校生の自立心・創造力・実行力・郷土愛を育成する。商業の専門性を実践的に体験することで、起業家教育の一助とする。商品の企画・開発・販売を通して多方面で交流を図り、自ら実行していくことで愛郷心を高めていく事業である。

取組内容

【商品開発】 郡商ふりかけ・郡商メロンパン・郡商どらやき・郡商スープ
【販売実習】 各種イベント会場で販売



事業名：「南そうま福幸植樹会場」の活用とハマナスや有用樹の加工品・新ブランド化に挑戦
実施団体名：NPO法人はらまち交流サポートセンター、福島県立相馬農業高等学校（事業3）

取組の概要等

- 1 高校生との市民協働による植樹会場の管理・活用会の開催で、生育段階にあるハマナスや果樹を、高校生による環境学習、自然体験プログラムの運営で活用する。
- 2 ハマナスやクコ等有用樹のジャムやドライフルーツ、栄等、加工が可能な高校の専門性や地元企業の協力によって、新たな観光資源となる加工品ブランドの開発に挑戦し、南相馬・福島の復興をPRする。
- 3 ハマナスの調査研究に関する発表を行うと共に、ハマナス苗木を、本NPOと交流が深い災害協定自治体など県外自治体に配布し、高校生による現地説明会や資料配布を併せて「苗木の里親プロジェクト」を実施することで、継続的な交流につなげる。

取組内容



事業名：ふくしまから美味しさと元気を発信！～ふくしま復興マルシェ～
実施団体名：福島県高等学校教育研究会農業部会、ふくしま復興マルシェ実行委員会（事業3）

取組の概要等

福島県内の農業及び水産高校の生徒が栽培・加工した生産物、加工食品、復興6次化新商品を首都圏（東京日本橋ふくしま館 MDETTE）で販売することでふくしまのおいしさと安心・安全をPRする。また、生徒に福島の復興に貢献する高校生としての意識改革と人間的な成長につなげることを目的とした事業である。

取組内容



事業名：福島から熊本へ繋げるバトン
実施団体名：ふくしまバトン（事業3）

熊本の仮設住宅に慰問し、被災した方々と交流した。その中で、自分たちの特性である日本舞踊を披露し、心を癒し楽しんでいただいた。また、炊き出しをし、住民同士がコミュニケーションを取るための手助けをした。「福島の未来を担う子どもたちの人格向上」、「震災時支えてくださったことへの感謝の気持ちを伝え、今度は自分たちが支えたい、共に支え合いながら生きていこうという想いを伝えること」、「熊本についていろんな形で発信すること」に取り組んだ。

取組内容



事業名：福島高校 SSH 部生物班 陸上養殖・循環型農法プロジェクト
実施団体名：福島高校 SSH 部生物班（事業3）

取組の概要等

高校生発案の福島復興企画を支援し、環境に優しく技術的にも新しい好適環境水の魚に対する生理学的な影響を調査し試験養殖の実施とともに、魚の養殖+水耕栽培による循環型農法であるアクアポニックスを立ち上げ、福島県の新しい水産業の可能性を実践的な事業を運営すること目的として実施した。

取組内容

～土湯復興プロジェクト～

【プロジェクト1】

温泉熱を利用しての「南国フルーツ栽培」

【プロジェクト2】

好適環境水を使用した鰻と鯛の養殖
(鰻の試食会開催)



事業名：Bee Happy！～安達東高から元気のプレゼント～
実施団体名：安達東高等学校 (事業3)



取組の概要等

震災から5年が経過した今、復興に関して総合学科で学ぶ生徒の専門性を生かして自分達が取り組むべき事を考え、元気な姿を全国に発信する事を通して地域の復興及び避難者支援を行った。

生徒が生産したハチミツの販売会や地元二本松市のPR活動を実施することにより、これからの中の復興を担う人材を育成した事業である。

取組内容



事業名：南相馬市の高校生の力で福島県復興PR～販売会を通して～
実施団体名：小高商業高等学校流通ビジネス科 (事業3)

取組の概要等

本校生徒が地元の良さを生かした商品開発と開発した商品の販売促進活動を実施することで、地元の良さをPRしただけでなく、原発被災県で風評被害を受けていた南相馬市の高校生の力で南相馬市の復興を広く発信した。さらに、販売会を通して、地元を知り将来地域に貢献できる人材を育成した。

座学での知識・理解だけでなく、自らが考えたアイデアを具現化させ販売するための準備や販売活動を体験したこと、知識の深化を図ることができるだけでなく、新しいことにチャレンジする精神や行動力が醸成された。

この事業は、生徒が、地元の良さを再認識できるだけでなく、地元の復興に貢献することを通して、将来的に地元へ貢献できる人材育成を目指した事業である。

取組内容

